

よこはまグッドバランス企業向けに男性の育休取得促進セミナー実施！

男性育休取得促進のためのコツは？

「子育てを一緒に。職場の子育て応援環境を考えよう！」セミナーレポート

「子育てと仕事」の両立は社会において大きく注目されています。横浜市内企業の男性育児休業取得率はなんと 40.6%！採用や人材定着の点においても、企業における男性が育児休業を取得できる環境づくりが、以前にも増して重要となってきました。そのような状況を踏まえて、2025 年 1 月 21 日に『「子育てを一緒に。職場の子育て応援環境を考えよう！」～男性の育休取得促進セミナー～』を開催しました。

今回実施したセミナーはよこはまグッドバランス企業の経営者・人事労務担当者等が対象。参加人数は 18 社 27 名で業種も建設業から医療福祉、金融、小売業等多種多様の企業の皆さまが横浜市役所 1 階スペース A・B に集まりました。

セミナーでは最初に、講師（認定 NPO 法人こまちぶらす 理事長 森祐美子氏）からデータを使いながら、子育ての現状について、そして、「なぜ男性育休を取得できる風土づくりが今、重要となっているのか」のお話がありました。昭和 61 年頃は、向こう三軒両隣が子育て世帯であったが、現在は子育て世帯が 18%となっているため、数十年前と比べて子育て世帯が孤立しやすい環境になっていること、男性育児休業取得の現状や取得を進めるうえでの課題や、管理職と本人の認識のギャップなどを様々な角度から説明があり、参加者からは『背景を知ること、会社へも説明しやすくなる』『産後うつ状況などを男性社員に伝えていきたいと思います』などの感想が寄せられました。



次に、社会保険労務士の講師（社会保険労務士事務所ジャスティス 特定社会保険労務士 山崎香織氏）より、育児休業制度の概要、両立支援の制度、2025年改正育児休業法や、活用できる育児休業に関する助成金等の説明がありました。『規定の見直しに役立てたい』『制度変更が多く、最新の情報を説明いただけたのは大変ありがたいです』等の感想がありました。一人で読み解くには難しい内容ばかりですが、山崎氏の資料はポイントが絞られていて説明も具体的でわかりやすく、参加者の皆さんが熱心にメモをされていました。

現状を知ったり情報を得るだけでも大変ボリュームのある内容ですが、大事なことはそれを自社にどう取り入れたらよいかイメージできることです。

そこで、市内中小企業の事例について、メルビック電工株式会社 執行役員 林伸晃氏にお話しいただきました。社内で初めて男性社員が育児休業を申請したときのこと、取得までの紆余曲折あった道のり、社内での相談の流れ、育児休業中の現場の体制づくり、日頃のコミュニケーションの取り方などヒントがたくさん！『社員への向き合い方がとても参考になりました』『実際の現場での話や写真でイメージがしやすかった』『自社にあてはめて、できることは実施していこうと思いました。』などの感想が寄せられました。



最後に、参加者どうしのワークショップや情報交換を行いました。

ワークショップでは、参加者がペアとなり、一人が上司役を、一人が育児休業取得希望者役になりきり、初めて育児休業取得の相談を行う場面を想定したペアワークを行いました。『子育て中』といっても、子どもが年子だったり親が遠方だったり、時には子育てと介護を抱えていたり、こどもに障害がある等、一人一人、家庭ごとに状況が異なります。『自身での提案に関しての課題が見つかりました。』『実際に相談者の立場

になることで、相談者が話しやすいように聞く内容を事前に準備することが大切だと思いました。』『他社の話も聞けて良かった。育休の申し出については、思った以上に希望を伝えるのが難しいと感じました。』等の感想がありました。



セミナー後半のワークショップやグループワークでは、参加者の皆様が活発に意見や情報交換をされている様子が印象的でした！様々な会社の状況を知って、課題や悩みを共有することで、新たなヒントを得たり、具体的なアクションを一步進めることができます。

誰もが働きやすい職場環境づくりに向けて、引き続きよろしくお願いします！

